

平成 30 年度第 1 回二宮町総合教育会議 会議要旨

開催日時	平成 30 年 5 月 18 日 金曜日 13 時 30 分から 15 時 10 分まで
開催場所	二宮町役場 2 階 第一会議室
出席者	村田邦子町長、府川陽一教育長、原道子教育長職務代理者、吉田美佳子教育委員、岡野敏彦教育委員、山内みどり教育委員
町部局	政策担当参事
教育委員会	教育部長、教育総務課長、生涯学習課長、教育総務班長
その他	傍聴 1 名

※会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

(司会・教育総務課長)

皆さん、こんにちは。13 時 30 分定刻となりました。ただいまから、平成 30 年度第 1 回二宮町総合教育会議を開催いたします。

開会にあたりまして、本会議の公開、傍聴についてお諮りさせていただきます。本会議は、平成27年4月1日に施行された、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第一条の四に基づいて開催いたしました。この条文の中では、「総合教育会議は、公開する。」とあります。また、平成27年度第 1 回の総合教育会議において決めました「二宮町総合教育会議設置要綱」第 6 条においても「会議は、公開する。」とあります。

本日は傍聴希望の方が、1 名いらっしゃいます。皆様、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

— 許可 —

(司会)

では、許可をいただきましたので、傍聴の方をご案内させていただきます。

— 傍聴者入室 —

(司会)

なお、今年度の会議より、お手元に配布させていただきました、二宮町附属機関等が開催する会議の公開に関する要綱に従いまして、傍聴などのご案内をしております。傍聴の方が入室されましたので、再開いたします。それでは、次第の 2、町長挨拶です。村田町長、お願いいたします。

(町長)

みなさん、こんにちは。30年度の第1回目ということで、お願いいたします。今年度も様々な課題について一つ一つ丁寧に進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(司会)

ありがとうございました。続きまして、次第の3、協議・調整事項に入りますが、本日は、二宮町総合教育会議設置要綱に基づき、黒石政策担当参事、小島生涯学習課長がオブザーバーとして出席いたしますので、この場を借りてご案内いたします。ここからは、二宮町総合教育会議設置要綱の第4条に基づきまして、村田町長が議長になりますことから、会議の進行をお願いしたいと思います。

(町長)

それでは、要綱に基づきまして、議長を務めさせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

では、協議・調整事項の(1)平成30年度総合教育会議のテーマ設定について、少しお話させていただきます。

今年度のテーマですが、一つは、小中一貫教育校の推進についてお話しさせていただきます。小中一貫教育校については、今年度、教育委員会においては、外部有識者の方も加えて研究会を立ち上げ議論を深めると伺っています。人口減少と少子高齢化が進む中で、学校規模の適正化も課題になっていますので、この取り組みを進めていきたいと思っております。

2点目は、「役場庁舎の移転とまちづくりについて」です。昨年度の会議の中で少しお話させていただきましたが、役場庁舎の建て替えに向けて準備を進めています。今年度も計画を進めていく中で、ラディアン隣接地を候補として考えていますので、ラディアンや図書館との連携、活用についてもお話しできればと思います。

まずは、この2つのテーマを取り上げ、また、ほかの話題も交えながらお話ししていきたいと思っております。

また、今年度は、二宮町教育大綱の改定も行う予定です。平成27年度に定めた教育大綱の期間は、今年度までとなっています。今年度、町では、第5次二宮町総合計画の後期計画の策定も進めていますので、総合計画との連動も考えながら、今後の会議で素案をお示しし、ご意見をいただきたいと思いますのでお願いいたします。

さて、小中一貫教育校についてですが、昨年度の報告は皆様もご覧になられていると思っております。現在は、小学校と中学校の連携やカリキュラム見直しについて取り組んでおり、当面は分離型として進めていく方向です。一方で、学校規模の適正化、児童の少ない学校での単級の解消が課題となっています。今あ

る3つの小学校区が、学校教育だけでなく、地域つながりや福祉などの面でも地域のつながりとして大切だと感じています。当面は今の小学校区を活かしていきたいと考えています。

カリキュラムの見直しを進める中で、ハードウェア、施設面での整備が必要になってくることも考えられます。庁舎移転もありますので、財政的な裏付けも含めた計画を検討していきます。検討を進める中で、さまざまな方の御意見をいただきたいと考えています。

えてして、学区再編というような言葉だけが先走ってしまいがちですが、どのように教育課題を解決していくかという点について丁寧に議論を重ねていきたいと考えています。

一方で、英語教育やICT機器を活用した教育についても取り組みを進めていきます。それらと、学校規模適正化の検討とともに並行して取り組みを進めていく必要があります。今後検討を進めていくにあたって、ご意見をいただければと思います。

(吉田委員)

今年度の総合教育会議も、議論を重ねていくということで、まず町長に教えていただきたいのですが、平成27年度に策定した教育大綱について、町長からみて、大綱で取り上げた内容をどのように評価されていますか。

(町長)

基本理念については、町民お一人お一人が自分発の力を発揮されていると感じています。それを行政がバックアップしたいと思います。行政がすべきこと、できる事は限られていますが、引き続き進めたいと考えています。

子どもたちに関連した部分については、子どもたちの力を発揮できる場面や場の設定がもう少し増えても良いと思いますが、コミュニティ・スクールにより、学校と地域、そして子ども達がつながることで、子ども達自身の力、自分発の力が発揮される場面が出てくるとも思っています。いろいろな形でのアウトプットと言いますか、子どもたちの活躍によって、大人や地域が元気になる相乗効果を期待しています。

(吉田委員)

子ども達自身が自分発で表現できる機会を充実させ、学校や地域が子ども達の活躍を紹介するような情報発信が行われると良いと思います。

(町長)

子どもが輝く場面や場を、これまでは大人の視点や都合だけで決めてしまっている面があったと思います。子どもの意見を聞き、子どもに考えてもらう機会が少ないので、子ども達の声を聴く機会を設ける必要を感じていますので、

形式的な方法にならないような取り組みを考えていきたいです。

(教育長)

町民一人一人の力の部分についてですが、一色小学校区の取り組み、地域再生協議会なども、その一つだと思います。地域の力、町民のつながりを活かした取り組みを進めていると感じています。一色小学校では、地域の方々とのつながりを一層大切にしようとしています。学習指導要領の中でも、地域社会との連携を取り上げていますので、コミュニティ・スクールの取り組みをさらに進めていきたいと思っています。

(町長)

地域再生協議会が成功しているのは、やはり地域の力があつたからこそだと思います。まずは大人、そして徐々に子ども達が参加しています。コミュニティ・スクールの取り組みにより、さらに学校と地域のつながりが生まれてくると思います。他の地域でも、その地域の特性に合わせた取り組みが進んでいくことを期待しています。

(岡野委員)

小中一貫教育とキャリア教育は、コンセプトに共通部分があると思います。義務教育の9年間、6歳から15歳という9年間の差がメリットになります。6歳の児童が15歳のお兄さんお姉さんを見るのも、キャリア教育の第一歩でしょう。そういったものを小中一貫教育に組み込むと効果的ではないでしょうか。さらに、NHKのテレビ番組ではありませんが、卒業生や地域の方をはじめ、年齢の離れた先輩の姿を見せることで、子どもたちが将来について考えるきっかけを作ることも大切だと思います。

(町長)

地域には様々な人材がいらっしゃるので、ぜひそれを活かしてほしいと感じています。

(原委員)

コミュニティ・スクールの地域理解、子ども達にどういう成長を期待するかが明確になると良いと思います。大人が子ども達に教えるということだけでなく、地域の雰囲気のようなものを子ども達に感じとってもらえるような、教員ではできない事が出来る事を期待しています。子ども達は未来の町民ですので、町として、どういう子どもを育てていきたいか、そのためにどういう地域づくりをされたいか、町長のイメージを教えてください。

(町長)

個性や可能性を伸ばせるように、のびのびと育つことが出来るように、自分達で自分自身を育てていけるような教育が進むと良いと思っています。学力の部分は学校で、それ以外の部分は地域が担っていくことで、皆で子ども達を育てる取り組みが必要です。二宮町は、自然も多く残っていますし、さまざまな人がいますので、自然や社会環境は良いと思います。この町の規模、顔の見える関係性のある町なので、お互いを認めることを、日々の生活の中で学びながら育てて欲しいと考えています。コンパクトな町なので地域差や土地柄のようなものはあまり無いように感じています。行政主体ではない、町民同士のつながりを大切にしたい地域づくりをしていきたいと考えています。

(山内委員)

転入してきた知人の子どもが、二宮町の図書館を喜んで利用しています。今の行政サービスを活かしてほしいと思います。また、近隣自治体と比べてもサークル活動なども活発に感じます。小中一貫教育校の取り組みですが、今年度はこれからのことを考える大事な年だと思います。先ほど学区のお話がありましたが、地域によって人口の変化があり、地域の様子も変化しているように見えますが、町長はどのようにご覧になっていますか。

(町長)

全体としては、少子高齢化による人口の減は避けられないと思いますが、その中でも、地域のつながりは一層強まっていくと思います。行政主導で、この学校区はこうあるべき、というような考え方ではなく、地域それぞれの考え方でそれぞれの地域について考えていただけると良いと思います。福祉の関係になりますが、通いの場の取り組みでは、その地域の個性が出ていると感じています。まだ、地域には戸惑いがあるかもしれませんが、それぞれの地域で取り組んでいただくことが、地域や町全体の活性化になると考えています。

(原委員)

先ほどのお話ですが、子どもの個性や可能性を伸ばせる環境を作ることは大事なことだと思います。子どもは皆伸びていきます。伸びることが保障される町であり、そのような施策を行うのは良いことだと思います。

(町長)

町として出来る範囲にはどうしても限界がありますので、プラスアルファの部分については、地域の力が生きてくると良いと思います。

(原委員)

町長から、当面は小学校区を活かす、というお話がありましたが、町内各地

域の状況に合わせた見直しも一つの考え方ではないでしょうか。

(町長)

たしかに今後の人口推移を見ていくと、人口は徐々に減少していきます。遠い未来を見据えて考える手法もあると思いますが、数十年先までを考えて一気に進めることは、今の町にとってプラスになるとはいえないと考えています。

たとえば、都市計画上の課題として、建築物の高さ制限などを外して人口を増やすという意見もあれば、今のこの街並みが良いという考えもあります。そこをすぐに大きく変えていくのではなく、まずはここ数年の見通しについて、地域の方も交えて議論していく1つのポイントとして、学校区に1つと考えています。

(吉田委員)

一色小学校が、2年後には全学年で単級になると見込まれています。人数が少ないなりの良さもありますが、ある程度の人数による経験が出来なくなるという心配もあります。

(岡野委員)

一色小学校の現状、町としての方向性、教育のコンセプト、まずは何か決めていけないといけないと思います。町としての視点、教育としての視点、それぞれに考えていく必要がありますね。

(町長)

昨年度の検討には校長先生も参加することで、教育的な面での検討が行われました。今年度は、施設面や、今の教育課題も踏まえて、検討していくことになると考えています。

(原委員)

学校教育の視点からの考えがありますが、地域の方々に、それぞれの地域に学校を、というニーズがどのくらいあるのかが気になります。学校が地域にあることのメリットが実感としてどうか。学校について住民がどのように考えているのでしょうか。

(町長)

今のところ、町民の皆さんに直接的に聞く機会はありませんが、地域の皆さんは、地域に学校がある前提で考えていると思います。

(原委員)

町民に、学校の存在をどのように考えているか確認する機会があると、今後

の再配置を検討する上での材料になると思います。

(吉田委員)

教育のあり方も含めて、今後変えていかねばならないのであれば、しっかりと議論を重ねて合意を得ていくというプロセスが大切だと思います。

(町長)

様々な御意見を踏まえて進めていきたいと思います。では、もう一つのテーマ、庁舎移転についてです。考え方としては、防災の面でしっかりとした庁舎、分散しているさまざまな部門を一カ所に集める庁舎ということ、基本計画を策定する中で検討していきます。また、ラディアンも完成から20年を迎える中で、大規模な改修を検討したいと考えています。ラディアンの機能についても手を加えて、全体的な魅力アップに取り組んでいきたいと思っています。

(原委員)

施設の再編に合わせて、組織の再編も課題になると思いますが、町長はどのように考えられていますか。

(町長)

いま、子育て関係が役場と保健センターに分かれてしまっています。こうしたところも視野に入れながら、取り組みたいと考えています。

(吉田委員)

庁舎移転のアンケートが今日までと伺いましたが、今後の計画にどのように活かしていくご予定ですか。

(町長)

アンケート結果と、移動町長室でいただいた意見、取り入れるべきものは取り入れていきたいと考えています。

(吉田委員)

子育て世代の意見もぜひ取り入れていただきたいと思っています。

(原委員)

役場跡地はどのように活用されるのでしょうか。

(町長)

駅前町民会館も含めてこれからの検討課題ですが、跡地利用全体について今年度方針を示していきたいと考えています。

では、まもなく予定の時間です。さまざまなご意見ありがとうございました。
次回も引き続きよろしく願いいたします。

では、次第の最後になります。その他、事務局から何かありますか。

－ その他、事務局説明（次回日程） －

(司会)

本日本日予定していた協議・調整事項はすべて終了いたしました。

これをもちまして、平成30年度第1回二宮町総合教育会議を閉会いたします。
ありがとうございました。

15時10分 閉会